

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月26日

福井県知事 殿

提出者

住所 福井県坂井市坂井町大味64字1番

氏名 株式会社リコー 福井事業所  
事業所長 藤原 勝彦

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0776-72-2700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社リコー 福井事業所
事業場の所在地	福井県坂井市坂井町大味64字1番
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

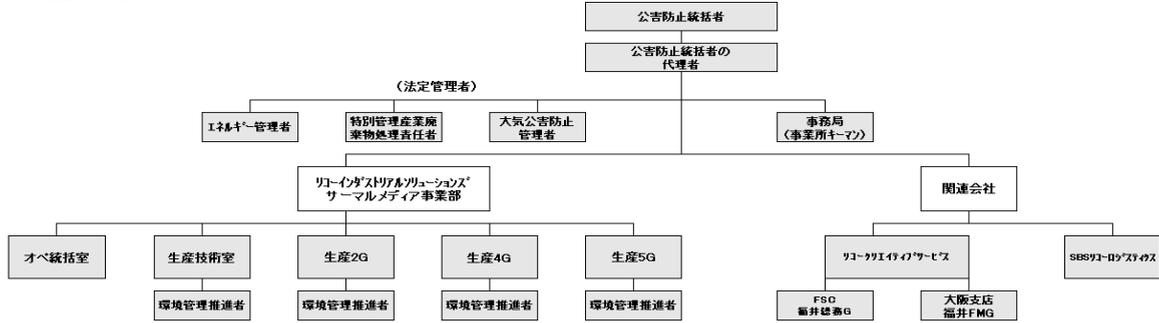
①事業の種類	E16 (化学工業)
②事業の規模	製造品出来高額 (令和6年1月～12月) 感熱紙分野 6,250百万円
③従業員数	198人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	1. 廃プラスチック・・・焼却、固形燃料化 2. 汚泥・・・焼却→埋立、混練→他原料化 3. 金属くず・・・再生 (一部売却) 4. 紙くず・・・固形燃料化、再生 (一部売却) 5. ガラス・陶磁器くず・・・焼却、焼却→埋立 6. 木くず・・・破碎→燃料化 7. 廃油・・・混練→他原料化、再生 (一部売却) 8. 廃アルカリ・・・焼却 9. 安定型混合廃棄物・・・焼却

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

2025年度  
福井事業所 環境安全衛生委員会<環境部門>  
環境保全(公害防止)管理組織図  
制定:2025年4月1日  
改定:2025年5月1日



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(6年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 環境・安全衛生委員会(月1回)にて、分別の周知を行っている。 分別ルールを作成して、排出時の注意点や置き場所を示している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の活動を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	7024 t	t
(これまでに実施した取組) 自己中間処理施設として、廃液処理施設（規模が小さいため廃掃法上の廃棄物処理施設には該当しません）を有しており、廃液排出量を1/50に減容して排出している。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	7104 t	t
(今後実施する予定の取組) 現状通り、自己中間処理を実施します。			

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

< 第2面別紙 >

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度(令和6年度)実績】</b>									
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	ガラスくず・陶磁器くず	木くず	廃油	廃アルカリ	安定型混合廃棄物
	排出量	340 t	7229 t	11 t	716 t	4 t	100 t	9 t	10 t	0.005 t
	(これまでに実施した取組) 生産工程において、歩留まり改善を行ってきました。									
②計画	<b>【目標】</b>									
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	ガラスくず・陶磁器くず	木くず	廃油	廃アルカリ	安定型混合廃棄物
	排出量	350 t	7299 t	2 t	690 t	5 t	90 t	10 t	10 t	0.01 t
	(今後実施する予定の取組) 排出物削減テーマを上げ、改善活動を継続します。 計画改善テーマ:1件									

<第4・5面別紙>

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和6年度)実績】									
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	ガラスくず・陶磁器くず	木くず	廃油	廃アルカリ	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	340 t	7229 t	11 t	716 t	4 t	100 t	9 t	10 t	0.005 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	41 t	195 t	11 t	655 t	4 t	100 t	9 t	10 t	0.005 t
	再生利用業者への 処理委託量	340 t	107 t	11 t	652 t	2 t	100 t	6 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	80 t	0 t	5 t	1 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	18 t	0 t	59 t	1 t	0 t	3 t	10 t	0.005 t	
(これまでに実施した取組) リコグループでは監査業務制度を制定しており、年1回 契約業者を訪問または書面によるセルフチェックを行い、法遵守状況の確認を実施している。										

②計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	紙くず	汚泥	金属くず	廃プラスチック類	ガラスくず・陶磁器くず	木くず	廃油	廃アルカリ	安定型混合廃棄物
	全処理委託量	350 t	7299 t	2 t	690 t	5 t	90 t	10 t	10 t	0.01 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	52 t	195 t	2 t	621 t	5 t	90 t	10 t	10 t	0.01 t
	再生利用業者への 処理委託量	350 t	107 t	2 t	651 t	3 t	7 t	7 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	82 t	0 t	5 t	1 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	16 t	0 t	34 t	1 t	3 t	3 t	10 t	0.01 t	
(今後実施する予定の取組) リスク回避を考慮して、地域の偏りをなくして、処分業者を選定し、適正な処理を進めます。										